国際交流サロン

1月の「世界の国技を見てみよう」は「日本・相撲」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国	日本	国技	相撲
どんな競技か	土俵上でまわしをつけて、相対した二人が素手で倒しあいまたは土俵外に出し合って格闘し、行司が勝負審判を行います。弥生時代の農耕儀礼として発生しましたが、奈良時代には天皇家の年中行事になりました。平安時代には国家行事になり、宮廷儀式として、独特の技と様式をもつ格闘技となりました。 後に戦国時代には武術として発達し、江戸時代には相撲力士は職業として「勧進相撲」興業が盛んに行われました。 現在は職業力士は「日本相撲協会」に所属し、外国人力士も誕生しています。また、学生相撲や神社の奉納相撲なども全国で盛んに行われ、日本の「国技」と称されています。		

ドイツの絵本おはなし会

外国人相談研修会のご案内

笠間市国際交流協会では、2月25日（水）に行われる外国人相談研修会の参加希望者を受け付けています。研修会は、「外国人のための労働法」について、関東甲信越の各県から外国人相談を実践している団体と関東弁護士会から参加した弁護士の方々との合同で行われます。交通費は協会が負担します。

対象：外国人相談の経験が3年以上ある方、または外国人雇用の3年以上の実績がある協会団体会員の企業の代表者等
定員：5名（応募者多数の場合は選考）
締切：2月2日（月）までに電話で申し込みください。※参加費無料

2月の国際交流情報

外国人相談研修会

日　時：2月25日（水）午後1時～5時30分まで
会　場：日本弁護士会館　（東京都千代田区霞が関1-1-3）
テーマ：「外国人のための労働法」
参加対象：外国人の生活相談・外国人雇用を3年以上している方

☆2月の日本語教室の開講日

2月7日㈯・14日㈯・21日㈯
（友部公民館 午前10時～）

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会　℡090-2761-8711（木村 美枝子）

市長コラム

今年の心得

昨年、鹿児島県の鹿屋（かのや）航空基地史料館へ行く機会がありました。鹿屋基地は終戦まで、鹿屋海軍航空隊の航空基地として使用され、現在は海上自衛隊の基地になっています。

館内の展示を見ていく中で、海軍精神の一つとして「5分前の精神」があることを知りました。

「5分前の精神」とは、常に作業や行事の5分前に諸準備を整えて待機し、定刻にスタートできるようにすることが自分の立場や使命、十分な事前準備等が図られることにつながるとのことです。

日々の仕事や生活の中で、集合するのが定刻より遅くなることをよく「〇〇時間」などと呼びます。

私も1日の仕事は事前に日程調整をしていますが、内容や相手により時間がオーバーして次の集まり、会議、面会に遅れる事があります。余裕なく行動することによりあわただしく、集まりや会議、行事に出席してしまい、行事の趣旨を十分把握せずに出席してしまい、迷惑をかけることとなり、自分も戸惑うこともあります。

忙しければなお「5分前の精神」の通り時間厳守し、少し余裕を持って行動することが必要であると考えます。

今年は「5分前の精神」の心得のもと、活動してまいりたいと思います。

笠間市長　山口伸樹